



福島小学校だより

# ふくしま

No. 9  
平成31年1月7日



ホームページ <http://www9.wakayama-wky.ed.jp/fukushima/>



## 明けましておめでとうございます。 本年もよろしくお祈りします。

新しい年がスタートしました。楽しかった冬休みも終わり、平成30年度も残り3か月となりました。3学期が学年のまとめとなるように精一杯がんばっていきましょう。そのためにも生活リズムを、学習できるリズムに早く戻すことが大切です。生活リズムチェックも8日から始まります。学校では「早寝・早起き・朝ご飯・体を使って外遊び・自主学習」をがんばるよう話しています。ご家庭でも声かけをお願いします。

### 情報モラル教室開催のお知らせ

インターネットにつながるスマートフォンやゲーム機が少しずつ普及しています。それに伴ってインターネット上のいろんなトラブルも起きています。例えば個人情報の流出、誹謗中傷などがそうです。金銭的、身体的に危ない目に遭うこともあります。

ゲームなどをやり過ぎて、生活に悪影響が出ている人は「ゲーム依存症」という病気——。世界保健機関(WHO)は、ゲーム依存症を病気の一つと位置づけました。長時間ゲームをする人が全て病気というわけではありません。〈1〉ゲームの時間や頻度を管理できない〈2〉生活でゲームを最優先にしてしまう〈3〉こうした行動が長く続いている。このような人は、ゲーム依存症と診断される可能性があります。朝までゲームに夢中で学校に行けなくなり、家族が取り上げようとすると暴れるのは代表的な例です。依存が長く続くと脳の機能が低下し、感情がコントロールできなくなります。動かないため、骨がもろくなる人もいます。

「うちの子供も最近、ゲームやSNS、動画サイトに夢中。このままで大丈夫？」心配に思っておられる保護者の方もいらっしゃるのではないのでしょうか。1月10日(木)に、特別講師を招いて「情報モラル」について学習します。2限(9:35～)は5年生、3限(10:40～)は6年生の教室で行います。ぜひ保護者の方もお越し下さい。他学年の保護者の方や地域の方も大歓迎です。お待ちしております。

校長 辻本 真吾

### 1月の学校行事予定です。

7日(月)始業式、交通・挨拶指導	15日(火)児童会役員立候補受付 スクールカウンセラー来校	25日(金)児童会立会演説リハーサル
8日(火)交通・挨拶指導 給食開始、集金1日目 生活リズムチェック(～14日)	パトリック英語活動	26日(土)子どもセンター行事
9日(水)交通・挨拶指導 集金2日目、身体測定1・2年 いじめなくそうデー	18日(金)第7回運営委員会	30日(水)児童会役員選挙(1限) 漢字の博士試験
10日(木)身体測定3・4年 情報モラル教室5・6年(2・3限)	19日(土)市科学作品展—20日(日) 場所…フォルテワジマ4階 時間…10:30～16:30	31日(木)わうくらず3年(5限) 2月の主な行事
11日(金)身体測定5・6年	21日(月)書き初め校内締め切り ALT来校	8日(金)新入児入学説明会
14日(月)成人の日	24日(木)6年生劇団四季観劇 (市民会館、弁当持参)	9日(土)市PTA研修会 15日(金)授業参観・学級懇談
		22日(金)6年お別れ遠足 23日(土)福島ミニオリンピック

# 絵本「くれよんのくろくん」

くれよんのくろくん

なかやみわ 作



しんぴんの くれよんが ありました。

「たいくつで いやに なっちゃうなあ」

あるひ、きいろくんが とびだした。

「ずうっと、しんぴんの ままなんて もういやだよ」

そういつて、つくえのうえを トットコ トットコ はしっていくと・・・

なんと がようしを みつけました。「うわわ！おおきくて、まっしろい！」

きいろくんは、おもわず・・・

という書き出しで、このお話は始まります。

きいろくんは、大きくて真っ白な画用紙にチョウを描きます。他のクレヨンたちを呼びに行き、それぞれ、お花や葉っぱ、木、青空、雲などを描きます。

そこへ、くろくんがやってきますが、せっかく描いた絵を黒くされてはたまらないと、仲間に入れてもらえません。

クレヨンたちは、描くことに夢中になって、絵がむちゃくちゃになってしまいます。

落ち込むくろくんのもとへシャープペンのお兄さんがやってきて、くろくに何かを伝えました。お兄さんの提案で、くろくんは、大活躍します。



## さて、くろくんはどんなことをしたのでしょうか？

絵本を見たことがある人は、思い出してみましょう。

知らない人は、想像してみましょう。

「くろくん、ごめんね」「くろって すごいね」

最後にクレヨンたちが言った言葉です。

この絵本の作者は、「なかやみわ」さんです。「そらまめくん」や「どんぐりむら」のシリーズの作者でもあります。学生時代に使っていた画材箱を見たときに、水色やピンクはほとんど形がないくらい使っているのに、黒や灰色はきれいなまま、使われないクレヨンが活躍するお話を描きたいと思ったことが、この本の誕生のきっかけだったそうです。どこかで、この素敵なお話に出会えるといいですね。



(福島小学校人権教育部)